

2011 IEEE International Test Conference 参加報告

Part II: 学生のポスター発表

群馬大学大学院 小林春夫

2011年9月18日-23日に米国カリフォルニア州アナハイム市で行われた IEEE International Test Conference でのポスターセッションで 半導体理工学研究センター(STARC)との共同研究内容を 群馬大学大学院 修士1年 加藤啓介が発表を行った。

Poster 19:

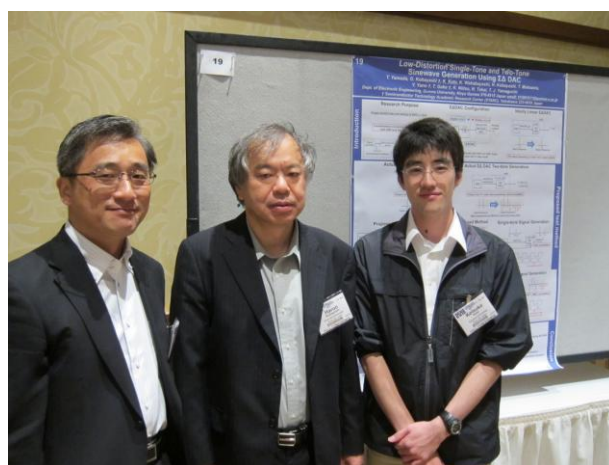
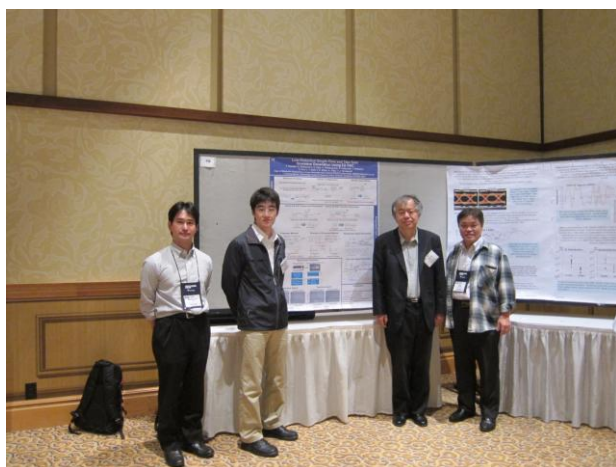
T. Yamada, O. Kobayashi, K. Kato, K. Wakabayashi, H. Kobayashi,

T. Matsuura, Y. Yano, T. Gake, K. Niitsu, N. Takai, T. J. Yamaguchi,

“Low-Distortion Single-Tone and Two-Tone Sinewave Generation Using $\Sigma\Delta$ DAC”

この発表内容は、共同研究としてメール等での議論の中で、STARC 小林修氏が提案した手法を 群馬大でシミュレーション、実測で確認したものである。その提案手法は一見うまくいくとは考えづらく自分には思いつかない発想であるので、逆に非常に強い印象がある。

発表を聴きに来た人たちは皆 ポジティブな感想を言っていた。



加藤啓介(左から2番目)